

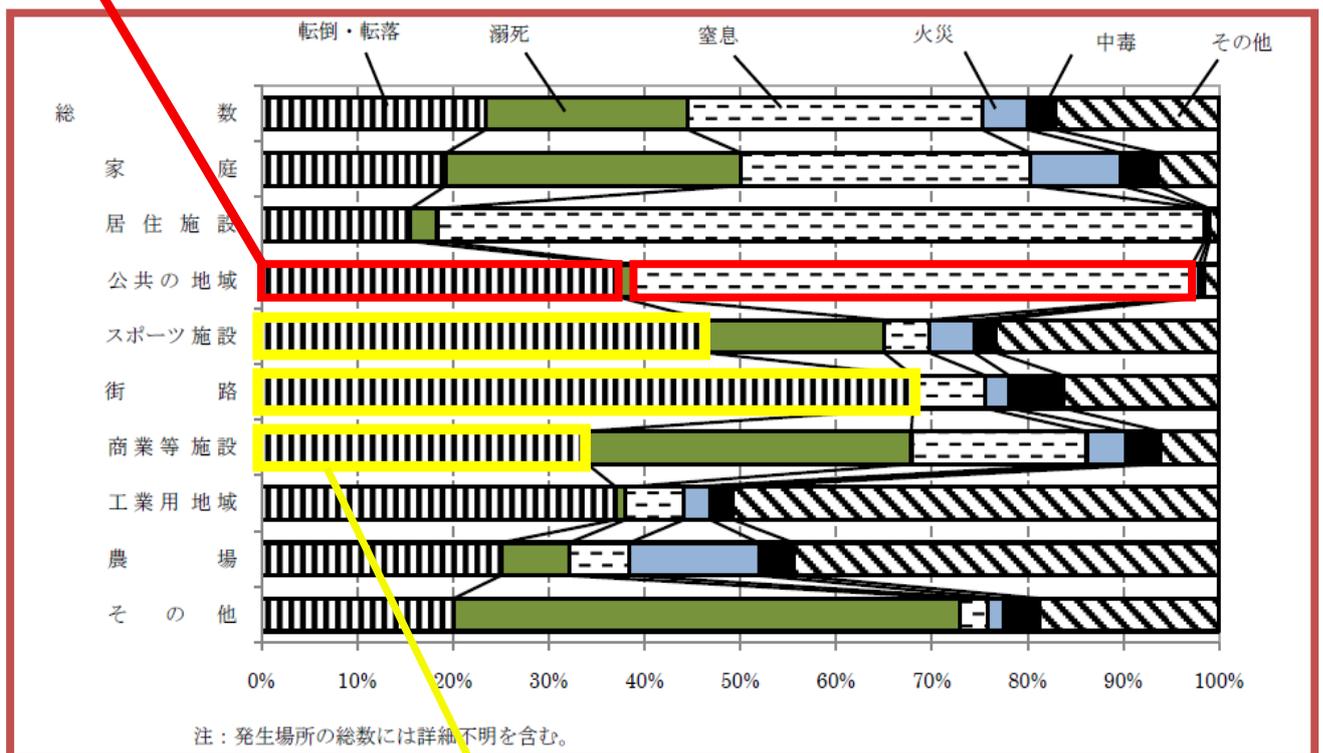
平成21年度「不慮の事故死亡統計」の概況

人口動態統計特殊報告

(5) 発生場所別にみた交通事故以外の不慮の事故による死亡
平成20年の交通事故以外の主な不慮の事故の種類別死亡数
構成割合を発生場所別にみると、構成割合が高いのは、家庭
では溺死と窒息、居住施設では窒息、

公共の地域では転倒・転落と窒息となっている。

(図12、統計表第12表)



厚生労働省 大臣官房統計情報部 人口動態・保健統計課資料（抜粋）

「転倒・転落」による死亡数発生場所は、「街路」「スポーツ施設」「商業施設」となっている